



ドイツ証券株式会社、韓国産業銀行（KDB）のサムライ債発行で主幹事

【2008年8月7日、東京】一ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：デイビッド・ハット）は、本日、韓国産業銀行（KDB）による総額 320 億円のサムライ債（円建て外債）発行で、みずほ証券株式会社と共同主幹事を務め、同債券を成功裡にローンチした旨を公表しました。同債券は、KDB によるサムライ債として、外資系証券会社による初の主幹事案件となっただけでなく、ドイツ証券株式会社にとっても韓国を含めたアジア地域を拠点とする発行体によるサムライ債で初めて主幹事を務めた案件となりました。

KDBが今回発行したサムライ債は、発行総額320億円で、130億円は利率年2.43%の固定利付債、190億円は3ヶ月LIBOR+138bpの変動利付債で構成されています。償還期限は何れも2010年8月13日（期間2年間）、発行価額100円（額面）、払込期日は2008年8月13日、利払日は毎年2月、5月、8月、11月の各13日の年4回（初回は2008年11月13日）となっています。また本サムライ債は、KDBが民営化を控えていることを考慮してプット・オプション（期限前償還請求権）を付すなど、投資家に配慮した起債となっております。

本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクからAa3（ダブルAスリー）、株式会社格付投資情報センターからA+（シングルAプラス）、スタンダード&プアーズからA（シングルA）、フィッチ・レーティングス・リミテッドからA+（シングルAプラス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社のグローバル・キャピタル・マーケット共同本部長である野本祐司は、次のように述べています。「KDBによるサムライ債の発行で、外資系証券会社として初めて主幹事を務め、成功裡に販売したことを大変光栄に思います。特に、サムライ債に強い関心を示す機関投資家のニーズに適した商品の組成を行い、市場動向を注視しつつ慎重な価格設定を行ったことで、地方銀行、資産運用会社などの機関投資家から需要を頂きました。弊社は、今後も、グローバルなネットワークと資本市場における豊富な経験や高い専門性を活用することで、顧客企業の財務・経営戦略ニーズに的確にお応えしていきたいと考えています。」

以上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は8万253人にのぼり、世界76カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては、1,452名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

【商号】 ドイツ証券株式会社
【登録番号】 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第117号
【加入協会】 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

リスクについて:

韓国産業銀行(KDB)によるこの度のサムライ債は、金利水準の動向、及び、信託財産の資産の信用力や発行者の信用状況、為替変動、金融市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生ずることとなるおそれがあります。

その他の留意事項:

本資料は、ドイツ証券株式会社が韓国産業銀行(KDB)によるサムライ債の発行についてお伝えすることのみを目的として作成したものです。当該債券を当社との相対取引により購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。なお、購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。また、「リスクについて」で記述されている通り、発行体の信用や市場・経済動向、為替および価格の変動等により、また、内包される財務、法律、税務、会計上などのリスクにより、損失を生じるおそれがあります。当該商品への実際の投資にあたっては、「目論見書」並びに「契約締結前書面」等をよくお読みになり、内容についてご理解・ご承諾のうえ、お客様ご自身のご判断で投資いただくようお願い致します。